

いわて平泉米だより

令和2年4月号



育苗管理のポイント



- ◆ 本年は、育苗期に細菌病類が多発する恐れがあります！育苗期間中の温度・^{かんすい}灌水管理には最大限の注意を払いましょう。
- ◆ 畦畔のかさ上げや用排水路の点検・補修等は早めに行いましょう。

＜育苗期の留意点＞

項目		対策
播種		○厚播きは発病を助長するため、基準の範囲内で可能な限り薄播きとする。
出芽		○出芽器は庫内温度が30℃を超えない。過度の加温は発病を助長するので、絶対に行わない。
育苗	ハウス温度	○緑化期の温度管理（日中20～25℃）を徹底すること。 ○緑化後は、育苗ハウスおよびトンネルの開閉をこまめに行い、育苗温度は25℃を超えない。
	灌水	○過灌水は発病を助長するので絶対しない。
プール育苗		○プール育苗の場合、緑化終了後2～3日以内に入水（水深は培土表面より下）しないと抑制効果が期待できないので注意する。